

令和3年3月定例会 請願

令和3年請願第2号

加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める請願書

・受理年月日

令和3年2月25日

・請願の要旨

[請願趣旨]

欧州諸国に比べ、補聴器購入への公的助成など、日本の難聴者対策の遅れを感じている。

日米欧の公的助成の現状によると、デンマーク、ノルウェー、イギリスは100%公的補助、ドイツ、スイス、イタリアは約7～10万円の補助、フランスは1万4千円だが2021年までに完全補助を目指すとしている。

アメリカと日本は、ほとんど100%自己負担である。

日本では障害者総合支援法に基づく補装具支給による補聴器の公費助成もあるが、対象者は高度、重度難聴者に限られる。

[請願項目]

加齢による難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める地方自治法第99条による意見書の提出

・請願者の住所氏名

釜石市定内町2-10-41

全日本年金者組合岩手県釜石支部

執行委員長 瀬川 悦司

・紹介議員

深澤秋子

・処理経過

令和3年3月1日、令和3年3月定例会本会議において民生常任委員会へ付託しました。

上記項目を記載した請願文書表を全議員及び本会議に出席した当局職員へ配付しました。

令和3年3月18日継続審査となりました。